

# 第1回 大槌町総合計画審議会 議事録

## 開催概要

会議名	第1回 大槌町総合計画審議会
開催日時	令和5年5月22日(月) 17時30分～
会場	大槌町役場 大会議室
委員出席者 (敬称略)	大萱生都、平野榮紀、芳賀政和、佐々木重吾、後藤力三、徳田信也、 千代川茂、岩間利夫、古舘和子(9名) 欠席1名(植田敏郎)
議題	1 開会 2 大槌町総合計画審議会の設置について 3 委嘱状交付 4 町長あいさつ 5 事務局紹介 6 会長の選出 7 議事 大槌町第9次総合計画(後期基本計画)の策定について 8 閉会
配布資料	大槌町総合計画審議会 名簿 大槌町総合計画審議会条例 第9次大槌町総合計画(後期基本計画)の策定について【資料1】

# 議事録

## 1 開会

### 事務局

それでは定刻となりましたので、ただいまから第1回大槌町総合計画審議会を開催いたします。私は本日司会を務めさせていただき、事務局の企画財政課長の太田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

## 2 大槌町総合計画審議会の設置について

### 事務局

配布資料の大槌町総合計画審議会条例をご覧ください。第2条に設置の項目があり「町長の諮問に応じ、総合計画の作成に伴う審議を行わせるため、大槌町総合計画審議会を置く」となっています。第3条で10人の委員で組織することとなっており、第4条で会長を置くこととなっています。

簡単ではございますが、以上が設置の主旨となります。

## 3 委嘱状交付

### 事務局

続きまして次第3、委嘱状交付を行います。町長は前に移動をお願いいたします。委員全員に委嘱状を交付します。

(省略)

## 4 町長あいさつ

### 平野町長

本日はご多忙の中、大槌町総合計画審議会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。また、日ごろから大槌町行政にご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

第9次総合計画につきましては、東日本大震災津波復興計画の後継として、令和元年度に策定をし、今年度で前期基本計画の期間が終了することから、令和6年度、来年度から令和10年度までの5か年計画の後期基本計画を策定いたします。当審議会は諮問に応じ、総合計画の策定に伴う審議を行うために設置をされているものであります。委員の皆様は今の町の現状や課題について肌で感じられていること、実生活の視点から忌憚のないご意見、ご発言をお願いできればと思っています。

ここで挨拶の場をお借りしまして、第9次大槌町総合計画後期基本計画策定にあたり、町の現状を踏まえ、私の想いや考え方について述べさせていただきたいと思っております。

始めに避けては通れない大きな問題として、人口減少が挙げられます。国立社会保障人口問題研究所の人口推計では、大槌町の人口は2年後の2025年には9,911人と1万人を切る見込みとなっており、約20年後の2045年には6,220になると

推計されているところであります。

地域では小売業や飲食業等の商業施設、医療施設、社会福祉施設、地域公共交通といった身近な施設やサービスが縮小、撤退するとともに、税収が減ることで行政サービスの水準や社会資本の維持が難しくなる等、生活に不便が生じることも懸念されるところであります。

また、施設やサービスの縮小、撤退により地域の雇用が減少し、若者の転出が進むことや、自治会、消防団等、地域コミュニティの活動の担い手が不足することで、住民同士の交流や伝統文化の継承、地域の防災活動等が滞ることが想定されるのではないかと心配しているところであります。

当町においていかに人口減少の加速化を抑制するか。今まで以上に人口減少対策に力を入れていく必要があるとともに、人口減少社会のまちづくりを見据えて後期基本計画の策定にあたり、3つの視点を重点的に計画に反映させたいと強く思っているところです。

1つ目は少子高齢化対策であります。グラフを見ていただきたいのですが、少子高齢化が進んでいく、人口が減る中で若い人達が少なくなり、高齢者が多くなるという状況がみられると思います。人口減少問題が引き起こす課題として、人口が減ることにより消費等の需要が減少するだけでなく、働く世代の割合が減少し、高齢者等を支えられる世代が減少していくことで、経済成長が鈍化することや、生産性の向上が停滞する可能性が指摘されているところであります。

日本では少子高齢化や出生率の低下が問題視されており、医療や介護、年金といった社会保障制度では高齢者一人を支える現役世代が減少することで制度の維持が困難になっていくことが想定されているところであります。地域の様々な資源を活かしながら、切れ目のない支援を包括的に実施する体制の構築を目指すとともに、子育てにかかわる全ての人々が安心して子育てができるよう、そして次世代の親となる子どもたちがふるさと大槌で子育てをしたいと思えるような子育て環境を目指す取り組みが必要であろうと強く思っているところであります。

人口減少、少子高齢化に伴い、福祉等に用いる扶助費の増加が予想される反面、交付税等は減額されていくことが見込まれることから歳出抑制のための事業を「あれやこれや」ではなく「あれかこれか」という発想に変えていかなければならないと思います。

2点目は、地域における産業活性化、安心して働ける場の確保についてであります。ここにはコメとかサーモン、様々なものが掲げられております。昨年11月に岩手県から公表された令和4年岩手県人口移動報告年報によると令和3年10月1日から令和4年9月30日までの転入と転出によって起こる人口の社会増減では、転入が279人、転出が353人で、74人の社会減となっております。人口減少を食い止めるためには、若年層を中心とした人口の社会減を縮小させるとともに少子化に歯止めをかける必要があります、人口の社会減の縮小のためには人々の生きがいと働くことができる場を確保することが必要と考えております。

厳しい経営環境が続く中でありますが、今後も持続可能で魅力ある農林水産業の振興や地元企業の成長支援、企業誘致、起業の促進等に取り組んで必要があると思います。若年層の社会減が縮小すると出生数の増加も期待できます。こうし

て生まれた子どもたちをまち全体で大切にしていくような、子育てしやすい地域づくりを進めていくことで、子どもを産みたい、育てたいと希望する人が地域で増えていくような取り組みが必要であろうと考えております。

3点目、最後になりますが、DX、デジタルトランスフォーメーションの推進であります。デジタルによる変化を推進するというものであります。平成30年に自治体戦略2040構想研究会の第二次報告が公表され、国の人口減少が進むことになり、社会的、経済的な影響及び、自治体の姿を赤裸々に予測しております。この研究会が公表した第二次報告では、2040年、令和22年の最大の問題として、労働力不足を掲げております。特に若年労働者が圧倒的に減ることが問題視されており、労働力不足に対応するため、自治体によって処理方法の異なる業務を標準化、共有化していき、簡略化することで人手をかからないようにする事の必要性が述べられているところであります。

デジタル庁においては、デジタル社会の実現に向けて重点計画を定めており、国の補助金を活用するためにもデジタルの要素を入れた取り組みにシフトチェンジをしていくことが重要であろうと考えております。

大槌町に住む子どもたちや孫が将来も住みやすい大槌であるためにも、人口減少対策を検討していくとともに、デジタル化による行政の効率化を図りながら、町民の利便性を向上しつつ、予算規模に合わせた事業の取捨選択をしていく必要があるだろうと考えております。

述べました通り、3つの視点を踏まえた施策の体系を立案をし、10年先を見据え、俯瞰をした考え方による共通認識を持ち、後期基本計画の策定に取り組んでいただきたいと考えているところであります。

あいさつの場で長々と想いを述べさせていただき、委員の皆様の貴重な時間をいただきました。今後のまちづくりを進めるうえで、委員の皆様から率直なご意見をいただきたいと思っております。そして、後期基本計画が大槌町の将来に希望と意欲を持って取り組める、そういう計画に私もしたいと思っておりますし、ぜひ様々な視点でご意見をいただいて、町民の方々が安心安全なまちになると思われるような、そういう計画にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

以上で説明を終わります。ありがとうございました。

## 5 事務局紹介

### 事務局

---

続きまして次第5、町の出席者を紹介いたします。大槌町長平野公三です。副町長北田竹美です。教育長松橋文明です。事務局から職員が自己紹介いたします。  
(事務局職員自己紹介省略)

## 6 会長の選出

### 事務局

---

続きまして次第6、会長の選出ですが、大槌町総合計画審議会条例で会長は互選によって定めることとなっておりますので、委員の方々から互選で選出させて

いただきたいと思いますが、どなたか会長になっていただける方はいらっしゃいますでしょうか。どなたか推薦される方はいらっしゃいますか。

#### 平野委員

---

はい。私のほうから推薦します。これまで第9次大槌町総合計画における行政評価委員会の会長さんとか、各種分野の委員、会長を務められております、後藤委員を会長に推薦したいと思います。よろしくお願いします。

#### 事務局

---

平野委員から後藤委員を会長というご推薦をいただきましたが、皆様方からご意見等ございますでしょうか。

(『異議なし』の声と拍手)

ありがとうございます。それでは改めて拍手でご承認をお願いいたします。

(拍手)

後藤力三様を総合計画審議会の会長へご就任いただくということで決定させていただきました。後藤会長はお手数ですが会長席へ移動をお願いいたします。

続きまして会長代理の選出です。条例では、会長が欠ける時に会長が指定する委員が代理することになっています。

#### 後藤会長

---

ただ今推薦をいただきました、平野組合長としたいと思いますがよろしいでしょうか。

(『はい』の声)

ありがとうございます。

#### 事務局

---

ありがとうございます。それでは後藤会長から平野委員を会長代理として指定がありました皆様よろしいでしょうか。それでは拍手でご承認をお願いいたします。

(拍手)

平野榮紀様を総合計画審議会の会長代理ということで決定させていただきます。それでは後藤会長からごあいさつをお願いします。

#### 後藤会長

---

皆様どうも、お世話になります。夕方のお忙しい中、お仕事をされているところを今日はご出席いただきどうもありがとうございます。大槌町総合計画の策定を通じて、将来の大槌町のあるべき姿について建設的な議論を行っていきたいと思います。また、審議会の円滑な議事運営に努めていきたいと思いますので、皆様もご協力をお願いいたします。

## 7 議事 大槌町第9次総合計画（後期基本計画）

### 後藤会長

それでは次第に沿って進行させていただきます。次第7「議事 大槌町第9次総合計画（後期基本計画）の策定について」、事務局から説明お願いいたします。

### 事務局

事務局の祝田と申します。私のほうからは「総合計画審議会 資料1」と書いてある資料のほうを説明させていただきます。第9次総合計画（後期基本計画）策定について、（1）第9次総合計画（令和元年度～令和10年度）は令和5年度で前期基本計画の期間が終了することから、令和6年度から令和10年度までの5年計画の後期基本計画を策定いたします。

（2）後期基本計画は、前期基本計画に掲げた基本構想を引き継ぐことを基本とし、世界情勢の変化、町長も述べられました人口減少・少子高齢化、ウクライナ情勢に係る物価高騰、新型コロナウイルス感染症、DX推進、GX推進等や、国が新たに進めるデジタル田園都市国家構想を鑑み、その課題と対策を整理し、国土強靱化地域計画と地方版総合戦略を統合した一体的な構成で策定します。

デジタル田園都市国家構想とは、これまで取り組んできた地方創成の成果を踏まえつつ人口減少、高齢化、産業の空洞化等、地方が抱える課題をデジタルの力を活用することによって解決し、地域の個性を生かしながら地方を活性化し、地方から国全体へのボトムアップの成長を実現するとともに持続可能な経済社会を目指すものです。

「2 策定組織の概要」の説明に入ります。後期基本計画の素案等は、町民・町民組織として位置付ける本日開催しております総合計画審議会、専門部会、住民説明会、パブリックコメント等からの意見を反映しながら策定いたします。

図のほうをご覧ください。本日開催しているのが①の総合計画審議会となります。総合計画審議会は大槌町総合計画審議会条例に基づく設置する附属機関で、総合計画の作成に関し、町長の諮問に応じ、審議する機関となっております。

②専門部会は分野別（経済産業・社会生活・教育文化・空間環境）に現状や課題を踏まえ、専門的な議論を深めるための町内企業・団体等で組織する機関でございます。

③住民説明会は、行政と町民が双方向のコミュニケーションを通じて相互理解を進めることができる場となっております。

④パブリックコメントは、公的機関が計画等を策定する際に、町民等から意見を募ることになっております。

今回の後期計画に関しましては、町民・町民組織に対して町のほうから案を提示して、そちらに対して意見をいただいて、最終的には議会のほうに提案して議決をいただくものとなっております。

次のページになります。

町民アンケート調査の概要について、町民のニーズを把握するため、令和5年2月～3月にかけてアンケート調査を行いました。

（1）調査対象・有効回答数です。18歳以上の町民1,500名を無作為抽出し、

有効回答数は554となっております。回答率につきましては、36.9%と、低い数値に見えますが、社会統計学上で一般的に使用される条件に当てはめると、1,500人のうちの25%、370人からの回答があれば調査が十分に信頼できるものとしております。

(2) アンケート結果からの抜粋になります。①定住意向は、「大槌町に住み続けたい」という方が69.7%になりました。住み続けたくないという方が30.3%でした。住み続けたくない理由といたしましては、「買物や娯楽施設など日常生活が不便」「働く場所がない」「保健・医療サービスが整っていない」という回答が上位回答となっております。②のまちづくりの重要度については「医療の充実」「検算な財政運営の推進」「子育て環境の充実」等の回答率が高くなっております。③はこれから特に重点を置くべき取り組みについてです。「人口減少対策」「産業振興の分野」「保健福祉の分野」「子育ての分野」等が高い回答となっております。④のどのような町にしたいかという質問に対しましては、「保健・医療・福祉の充実したまち」「安全・安心な住環境の整備を優先するまち」「商業の振興や企業立地を推進するまち」等が高い回答率を占めております。

4のスケジュールについてです。4月～6月までの間に総合計画委員会を開催いたしまして、これは4月27日に役場の課長級で開催しております。本日開催している総合計画審議会の開催、前期基本計画における現状と課題の整理、ワークショップの開催、専門部会の開催を予定しております。

7月～11月につきましては、令和4年度事業の行政評価、新たな施策体系の立案・論点の設定、成果指標の設定、高度強靱化計画、地方版総合戦略の作成、議会全員協議会への説明を予定しております。

11月～12月にかけては、専門部会の開催、各地区での住民説明会、総合計画審議会の開催を予定しております。

12月から1月にかけてパブリックコメントを実施し、3回目の総合計画審議会の開催を予定しております。

2月～3月に議会全員協議会で説明し、計画を上程する予定となっております。

次の資料につきましては、今述べたスケジュールについて町の役割とコンサルの役割を分けて表しているものになります。

簡単ではございますが、以上で説明を終わらせていただきます。

## 後藤会長

---

ありがとうございました。ただ今の行政課題及び大槌町第9次総合計画後期基本計画の策定につきまして、ご意見やご質問はございませんでしょうか。

## 古舘委員

---

アンケートの④のところなんですけれども、私のわからないところが「保健・医療・福祉の充実したまち」ということについて、これはアンケートを取った時に、その人たちにきちっとどうなのかとお聞きしたアンケートなのではないでしょうか。

## 事務局

---

今回のアンケートでは、どのようなまちにしたいかというところに対して、具

体的な話ではなく、複数回答でこの題目だけを挙げている内容になっています。具体的な内容につきましては、今後住民説明会ですとか、そういうところでお伺いしたなど考えております。

#### 古舘委員

---

ざくっとアンケートではなく、やはり詰めていけばさらにいいまちになるかもしれない。

#### 後藤会長

---

ありがとうございます。その他になければ皆様からまちづくりに対する意見や要望等を一人ずつご発言いただきたいと思います。申し訳ございませんが、順番で行きますと。大萱生委員からお願いいたします。

#### 大萱生委員

---

アンケートの中でも、やはり子育て環境の充実とか子育て支援について書いてありますし、大槌町は今、国のほうで子ども家庭庁の政策を悩みながらやっている中で、進んで色んな政策をこういう小さいまちでも行っていることを、素晴らしいなあと、いつも思っておりますし、住民の方々にももっとアピールする必要というか、やってきていることを伝える時に来ているのかなあと思っています。

自分がかかわっているのは子どもたちと教育の部分なので、大変なところもありますが、地域の皆さんからの理解を深めながら、子どもを中心としたまちづくりが始まっているのではないかなあと思っています。とにかく改めて方法を考え、後期のほうも整理しながら考えていけばよいのかなあと思っております。全国の中でも進んでいるところは数少ない中で、こういう小さいまちが頑張っているというのは素晴らしいことだと思います。

#### 後藤会長

---

どうもありがとうございました。引き続き平野委員、お願いします。

#### 平野委員

---

今、大萱生さんがおっしゃったように、いいことの中には大槌高校の浜留学というのがありましてですね、5人くらいでしたっけ、子どもさんたちが来ているのですね。やはりそういうことで、子育てと言いますか、そういう交流も1つのいいことでもありますし。

まあ私が携わっている漁業のほうなんですけれど、今、日本水産さん、弓ヶ浜水産さんというところでサーモンの養殖等々をしております。今月も鳥取県のほうに視察に行ってきたのですけれども、さらに増やしていければなあと思いながら、役場さんにもお願いをしながら養魚場を作ったりとか、あとは加工場ですね。そういうものを作っていければなあとということで考えております。

鳥取県のほうでは若い人たちが働いているんですね。例えば水産学校みたいなのを終えた人たちが加工の仕事をしている、大学を終えた人たちが水産加工をしているというふうなことで、結構若い人たちが働いているんですね。我々が考えられるのは、水産加工場というのはおばちゃんというか、そういう高齢の方々が



水産加工に携わっているのですが、鳥取県の場合は若い人が携わっているんですよ。そういう若い人たちを呼び込めれば、全国的なものも少しでも…というところを考えました。以上です。

---

#### 後藤会長

どうもありがとうございました。続いて芳賀委員、お願いします。

---

#### 芳賀委員

私の言うことはいつも同じなのですが、浜をどうにか。市場のほうで色々なものを作っていくようにしたいというのが私の希望なのですが、なかなか今は水揚げが少なく、年のいった人が買い付けをしているような状態です。若い人で高校生なのですが、私は魚が大好きだと言っている人が私の店に来たことがあります。こういう人が増えればいいんだけど。どういう事をしたいのかと言ったら、調理師になりたいと言う。それでは調理師になって地元に戻って来るかと言ったら「はい」と、「戻ってきて調理をしてみたい」という話を聞いて、まだ捨てたもんじゃないないと思っています。

---

#### 後藤会長

どうもありがとうございました。佐々木委員、お願いします。

---

#### 佐々木委員

私たち農業のほうなんです、高齢化が本当に進んで、跡取りの方々が農業をしないという方々が増えていて。農家であっても農家をしないというふうに、実はなってきたております。それは例えば、田んぼをやめたくらいではよく、自家用の野菜すらも作らないところがものすごく増えてきていて、相当な危機的な状況になりつつあるのだけど、反対に今度は30代前後の若い人たちがあえて農業に挑んできているのもあって、やめていくのと入っていくのが二極化し始めていて、その人たちを助けてやらなくてはだめかな、という気がしております。

農地というのは生命維持装置。大概の人は農地から作られたものを食べて生きているということになるので、それがだめになるということは人間の体にも影響がある。そういうことを考えると、農地を無駄なく適正に使えるようにこれから考え…考えるというよりも、すぐに取り組んでいかないといけないところまで来ているのですが。

そんなことで、せっかく若い人たちが取り組んできているので、彼らを逃がしたくない、逃がさないように。手助けはいつまでできるかわからないんですけども、やりたいと考えておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。

---

#### 後藤会長

どうもありがとうございました。徳田委員、よろしくお願いいたします。

---

#### 徳田委員

先程の説明の中でありました、人口の高齢化、(令和)22年になれば、約50%台になるという説明でした。社協の仲間と高知県の大豊というところ見学に行き、

数年前でそこでは高齢化率が54%でした。山村なもので、今言った農業の関係も担い手がいなくてすごく困っているというところを見学した経過があるのですが、本当に高齢化はおそろしいな、と感じていました。

したがって、大槌町にお願いしたいのは、人口が減るまま高齢者がそのまま増えていくという、とにかくその高齢化について、何とか対策を皆さんに考えていただきたい。私たちもそのように思っているのですが、これは個人の問題ではなく、本当に大変な問題だと思います。何とか高齢化というものに取り組んでいただきたい、そのように思っております。

---

#### 後藤会長

どうもありがとうございました。千代川委員、よろしくお願いたします。

---

#### 千代川委員

私のほうは観光ということで発言したいと思います。交流人口についてコロナが終わりになりますので、ぜひインバウンドの誘致というのを1つ。それともう1点は、外国人の技能実習生を、大槌のほうも。雇用施策も出てくるとしますので、新しい発想で外国人労働者を町内に人口を増やすということをご検討いただければと思っています。

このままでいくと、ただ高齢化が進むと言いましても、新しい人口が増えるのではなく、そこから色々大槌の活性化になるのかなと、そういう形も考えております。

産業育成は人材ですが、やはり若い人材がないということですが、これは日本全国同じなんですね。だから切り口を変えた形で大槌町の取り組みを進めていただければよろしいかと思ます。以上です。

---

#### 後藤会長

どうもありがとうございました。引き続き岩間委員お願いします。

---

#### 岩間委員

先程町民アンケートの説明を聞きましたけれども、回答率が少ないという話もありましたけれども、この内容を見ると大槌町の実態が出ています。計画のほうで、ワークショップや専門部会での検討に期待したいと思っています。

---

#### 後藤会長

どうもありがとうございます。最後になりますが、古舘委員、お願いします。

---

#### 古舘委員

皆さんはほとんどお話されたようなので、私は元気な話をしたいなおもっているのですが、私は婦人会をやっているので、婦人の方々が非常に元気で、発言もハキハキしているし、素晴らしいなといつも思っています。

私たち婦人会は今年で70周年です。今は100年を目指そうということで、今回も県のほうで70周年記念として100年を目指そうと。もう私たちはいないんですけども、それでもそのように明記をして、9月に記念大会を行う予定でございます。

ます。

この間うちのほうで総会の役員会をやった時に、婦人会が人も足りないのでやめようか、という話になりました。でも私はこの大槌に、やはり元気のいい我々がいるので、まちに協力する、どんなことでもいいので協力して、子ども達の見守りをしたり、色々な形で協力をしようじゃないかと考えております。絶対にまだまだ婦人会も元気でまちのために頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

## 後藤会長

---

皆様どうもありがとうございました。それでは委員のご意見を踏まえて計画を策定していくよう、事務局をお願いします。

それでは策定概要について、皆様に委員の皆様にお諮りいたします。事務局の案の通り計画を策定していくことでよろしいでしょうか。

(『はい』の声)

どうもありがとうございます。それではご承認いただきましたので、案の通り進めさせていただきます。

議事を終了しましたので進行を事務局にお返しします。

## 8 閉会

### 事務局

---

後藤会長、ありがとうございました。最後になりますが、町長から最後にコメントをいただきたいと思います。

### 平野町長

---

各分野からのご意見ありがとうございます。やはり人口減少に起因する様々な問題がありますけれども、やはり人口が減少し高齢化が進む中で、安心・安全というのはやはり町民の方々にお伝えしなければならないと思います。様々なご意見をいただきました。それを参考にしながら計画内容を盛り込んでいきたいなと思います。

しかし先ほどお話をしました通り、何でも、どれもこれもというわけにはいきませんので、しっかりと取捨選択をしながらものごとを進めていく必要があるだろうと思いますし、アンケート調査の中にも上がっておりますが、医療問題、子育て問題というのは浮き彫りになっておりますので、それをどう計画に盛り込むかということもありますが、やはり働く場所はしっかりなければならないだろうと。そういう部分からすれば、第一次産業を中心とした産業振興を見据えた形でまちづくりをしていく必要があるだろうなと思っております。

これからこの委員会の他に部会とか、町民の説明会とかがあります。意見をしっかりと盛り込んで、予定ですと1月、2月になりますが、それまでには中間もありますし、様々な形で皆様のほうに投げかけます。単に会議ではなくて、部会の結果等も何らか形で皆様のほうに情報共有をしていければな、と思います。限られた時間の中ではありますけれども、この1年間この計画策定にかかわっていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。今日は大変あり

ありがとうございました。

## 事務局

---

委員の皆様には長時間にわたりご出席いただきありがとうございました。次回の開催についてですが、秋頃を予定しております。具体的な日程が決まりましたら改めてご案内させていただきます。

以上をもちまして、第1回大槌町総合計画審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

(終了)